



中日新聞社提供
▲ 泥水に浸かった家屋（長島町）

陸上自衛隊撮影 / 中部地区自然災害科学資料センター提供
▲ 水没した家屋（飛島村）

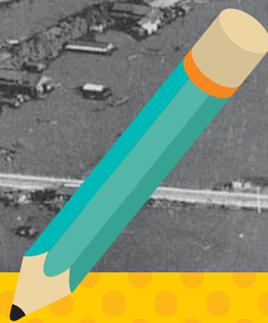
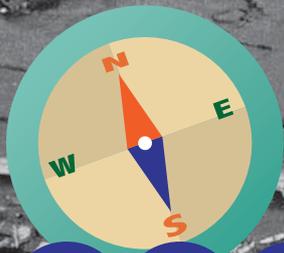
陸上自衛隊撮影 / 中部地区自然災害科学資料センター提供
▲ 災害状況（名古屋市）

中日新聞社提供
▲ 災害状況（名古屋市）

▼ 水に浸かった町（蟹江町） 中日新聞社提供



ハザードマップを
つくろう!



参加者募集

未来に継ぐ子どもとつくる

ハザードマップ・コンテスト

はじめに

1959年9月26日に私たちが住んでいる東海地方に大型台風が襲いかかり、愛知県・岐阜県・三重県では死者・行方不明者あわせて約5千人にも及ぶなど大きな被害を受けました。これが伊勢湾台風です。2009年は伊勢湾台風来襲から50年を迎えます。これを機会にみんなで、自分が住んでいる街のハザードマップを作り、防災力を調べてみよう。

もくてき

伊勢湾台風被災地域を中心にして、子どもと大人が学級や団体（クラブ、子供会）などの組織単位で地域の災害地図を作成し、地域調査の技能を高め、社会への参加意欲や災害意識の自覚を高めることをもくてきとしています。コンテスト形式を採用することで、地図の表現方法の向上を促し、伊勢湾台風被災地域だけでなく、今後の学校現場や地域で防災学習に取り組む際の指導方法や作成内容のモデルとします。

サポート体制

対象地域

伊勢湾台風で被害を受けた愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市内に住む方

対象者

小・中学生とその児童・生徒の所属する各組織の指導者(教師・子供会指導員など)

サポート体制

マップの作成に必要な、B紙、マジック、色紙等の消耗品は実行委員会より提供



カワじい

ウッチー

©作品は、原則返却いたしません。ただし、返却を希望される方は、実行委員会までお問合せください。©最終審査に残った作品の著作権は、実行委員会に属します。

参加者募集 2009年7月中旬まで

- 7月中旬まで参加を受け付けます。詳しくは下記実行委員会までお問い合わせください。
- 学校以外のグループ、親子での参加も受け付けています。
- 参加者には、マップ作成に役立つオリジナルテキストをお渡しします。

オリジナル
テキスト配布



2009年1学期及び夏休みを利用して
ハザードマップをグループで作成

締切日
8月末日

2009年9月上旬

第一次審査

- 選考は、作成されたマップごとに実行委員会により、作品審査を実施
- 10数作品程度を選考し、結果は各参加者宛に通知

2009年9月23日(水)秋分の日 最終審査及び表彰式

- 第一次審査を通過した10数作品程度を対象に最終審査を実施
- 作成に携わった参加者によるプレゼンテーションを伴ったコンテスト形式での公開審査
- 表彰式(指導者も表彰)
 - 表彰: 最優秀賞 1点 表彰状及び教育活動支援金 7万円
 - 優秀賞 2点 表彰状及び教育活動支援金 5万円
 - 佳作 数点 表彰状及び教育活動支援金 2万円
- 会場は、名古屋市内を予定

申込用紙

(ふりがな) 代表者氏名		代表者所属 (組織名・校名)	
連絡先	自宅	所属	(どちらかに○をお付け下さい)
	住所 〒		
児童の学年 と グループ数	学年		グループ数

<個人情報の取扱いに関して> 申込用紙に記載していただいた情報については、申込み受付、問合せ対応のために使用いたします。対応終了後、記載していただいた個人情報データは実行委員会にて破棄いたします。

子どもとつくるハザードマップ実行委員会

FAX 052-962-9083 E-mail info@kodomo-hazardmap.net

URL <http://www.kodomo-hazardmap.net/>

〒460-8575 名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事丸の内ビル8F (社)中部建設協会 TEL 052-962-9085

お申込み先
お問合せ先